

■ 編集後記 ■

「翻訳育成プロジェクト」によるウェブ版『翻訳研究への招待』9号をお届けします。3月末の刊行を予定していましたが、編集担当者の交代にともない作業が遅滞し、刊行が遅れましたことを読者の方々、そして刊行を待っておられた執筆者の方々に深くお詫び申し上げます。

先日、出張でイギリスに行った際、現地の大学で翻訳研究に取り組んでおられる日本人院生の方々から、本誌を愛読しているとの声をうかがいました。日本での翻訳研究の現状を知ること、あるいは資料を取り寄せることがままならない海外において、本誌が貴重な情報源として役立っていることを実感しました。当初冊子版だった『翻訳研究への招待』を電子版に切り替えられた水野的前編集長の英断に、あらためて讃嘆の念を覚えた次第です。

新たな編集部の船出の号でしたが、論文7本、論文以外の研究ノート、資料、書評など5本という、充実したラインアップとなり、投稿者の皆様の旺盛な研究意欲を感じるとともに、日本における翻訳研究の隆盛をあらためて印象付けられました。今後も特集企画など、本誌の充実をはかっていきたいと思っておりますので、ご意見・企画などありましたら tanabe@mail.kobe-c.ac.jp までぜひお寄せください。

本プロジェクトの中長期的活動目標として、「翻訳論アンソロジー現代日本編」「翻訳論アンソロジー外国編」「翻訳関連文献集成」があります。これは言語を問いませんので、英日以外の言を専門とする方も、ぜひ積極的にご参加ください。

次号(10号)は7月末の刊行を予定しています。投稿の締め切りは5月末です。多くの論考をお寄せください。投稿をお待ちしています。

2013年4月8日

『翻訳研究への招待』編集委員会